2026年10月21日

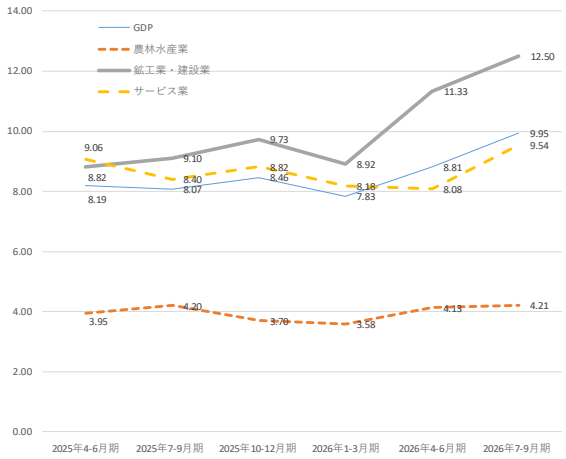
ベトナムの2026年7－9月期GDP成長率は9.95%

New-S Wealth Management

《ハイテク製品を中心とした製造業の好調がGDP成長を加速させた模様》

2026年7－9月期の実質GDP（推定値、以下同様）は前年同期比9.95%増の3,004兆VND（ベトナムドン）となった。4－6月期の確定値は同8.39%増から8.81%増に上方修正され、1－9月累計は同9.01%増となり、経済の拡大基調は維持され、そのスピードが加速している観がある。ハイテク製品の輸出拡大を軸とした製造業の好調が牽引役であり、他の新興国と比較しても依然として良質かつ高水準の成長を続けているといえるだろう。なお、1－9月期累計の消費者物価指数は同4.52%上昇なので、1－9月累計の名目GDPは実に13%超の水準で成長していることになり、株式市場にポジティブな影響を与えていることが想定される。

図表1　実質GDP成長率の推移　(%)



出所　ベトナム統計総局のデータをもとに当社作成

鉱工業・建設業の実質GDPは同12.5%増の1,182兆VNDだった。AIサーバーなどのハイテク製品の生産が好調で、加工製造業の実質GDPは同12.3%増の797兆VNDとなっている。また、FDI（Foreign Direct Investmentの略で海外資本のベトナム国内への直接投資を意味する）実行額の拡大や住宅投資の回復によって建設の実質GDPは同14.2%増の187兆VNDとなった。

サービス産業の実質GDPは同9.5%増の1,265兆VNDとなった。製造業の好調が雇用の実質的な改善を促し、それが消費活動にポジティブな影響をもたらしたため、卸売・小売業が同10.4%増の287兆VNDとなって全体を牽引した。活発な経済活動を背景に運輸倉庫業の実質GDPが同11.6%増の152兆VNDとなったほか、ベトナムを訪問する外国人数の増加によって宿泊・飲食の実質GDPは同9.8%増の76兆VND、旺盛な資金需要を反映して金融・保険の実質GDPは同10.3%増の151兆VND、デジタル化への活発な投資により情報通信の実質GDPは同8.9%増の108兆VNDとなっている。回復が期待される不動産の実質GDPは同5.6%増の92兆VNDにとどまっているが、4－6月期の同4.9%増からは緩やかに伸び率が拡大している。

以上のようにGDPの拡大加速がみられ、企業業績の拡大基調が継続する可能性が高いが、2026年のベトナム株式市場のパフォーマンスははかばかしくない。2026年10月20日終値ベースで昨年末比5.2%の下落となっている。好調のエンジンとなっているハイテク製品の輸出を担う主な企業の多くがベトナム株式市場の上場企業ではないことが影響している可能性があるが、グローバルIT企業の投資動向を考慮すると、ベトナム経済の成長を牽引する生産拡大、投資拡大、消費（内需）拡大の好循環が継続する可能性は高く、ベトナム株式市場の魅力は高まっているとみることも可能だろう。一方、リスク要因はインフレだろう。物価上昇が加速するようであれば、金融政策がインフレに配慮する方向に向かう可能性が高まる点には留意する必要があるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会　　有効期限作成日より180日　　News20261021
主な事業　金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。